

## ACP シートを市内共通で活用するために

### 1. この取り組みを行った経緯

アドバンス・ケア・プランニングは、(以下 ACP) 愛称を「人生会議」として、一般にも知られるようになり、関心も広まってきました。

豊川市民病院では、患者・家族の意向に沿った医療・ケアが提供できるよう ACP の推進に取り組み、ACP シートを作成し運用しています。豊川市民病院で作成した ACP シートが転院の際などに他の医療機関等に送られ、関係者が目にする中で「市内共通で活用できないか」との問い合わせが寄せられるようになりました。そこで、この ACP シートを豊川市民病院だけの取り組みではなく、市内全域で共通して活用して頂くため、豊川市退院調整担当者が中心となり、検討を行うことになりました。

※シートを活用される前に、厚生労働省ガイドライン「人生の最終段階における医療・ケア決定プロセスに関するガイドライン」をご一読ください。

### 2. ACP を行う時期と対応について

#### ○第 1 段階：健康な時期

健康な全ての成人を対象にフォーラムや出前講座の場で情報発信をしていく。

例：介護高齢課が行う出前講座やフォーラム、豊川市退院調整担当者会主催の多職種合同研修会等

#### ○第 2 段階：何らかの病気や障害が進行した、または要介護状態の時期

何らかの医療やケアを受けている方が多く、支援や生活について意思決定を行う。

医療・介護・障害関係者が利用者や家族と話し合い ACP を実践していく。

例：豊川市民病院が行う ACP 講座等

#### ○第 3 段階：予後が 1 年程度、または看取りが差し迫っている時期

人生の最期をどう過ごしたいか、その人らしい人生を送るために医療やケアについての選択を話し合う。関係する多職種が連携・協働しながら本人の価値観をよく知る存在として ACP を実践する。

### 3. ACP シートの活用について：変化があった時はその都度、シートの更新を行いましょう。

このシートは利用者や家族と地域の関係者を結ぶ情報シートです。

ACP シートは記入してもらうことだけが目的ではありません。利用者、家族等と話し合いを重ねる中で医療やケアの方向性について共有していくものです。意思表示や意思決定のできる段階から、折に触れ利用者の意向や希望を確認し、関係者間で合意形成していくことが重要です。何を選択するかという結論だけではなく、人生観、死生観、価値観、信念を理解しながら、医療やケアの方向性について合意形成し、利用者や家族が意思決定できるよう支援していきます。気持ちの変化や記載内容の変更があった場合はその都度、ACP シートに書き加えましょう。作成した ACP シートは各施設と利用者、それぞれが保管しておくこと、その都度、確認できるのがよいと思います。医療者の価値観を押し付けることなく、利用者や家族が納得のいく選択ができるよう関わっていくことが大切です。ACP は人生の最期まで尊厳をもって自分らしく生きることができるようになること、最期を迎えるその時まで、どう生きるかを支えるためのアプローチの過程です。この ACP シートが地域で活用され、関係者の連携や利用者の安心に繋がることを期待しています。